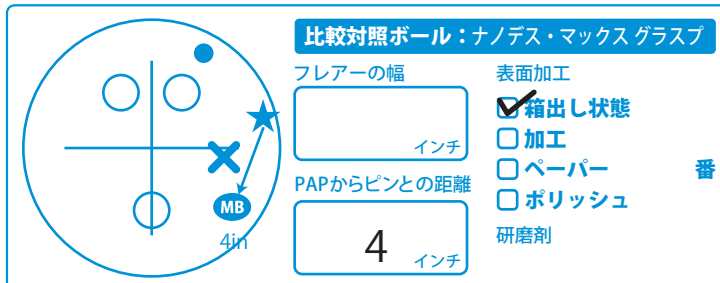
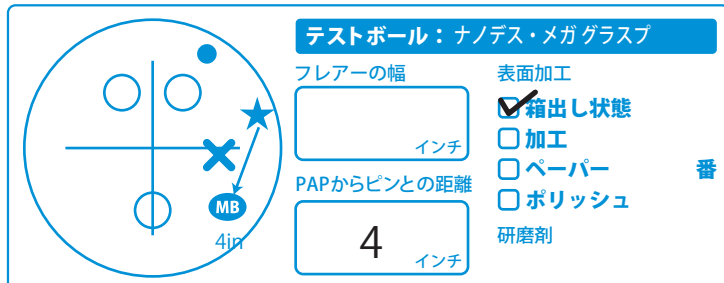


ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	ナノデス・メガ グラスプ		投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.501	ΔRG	0.045	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール		



ヘビー
ミディアム
ライト
バフ

NANODESU MEGA GRASP

Cover	Type	Core	RG ^(15P)	ΔRG ^(15P)	INTΔRG ^(15P)	Surface	Skid	Backend	Hook
NANO-BOND 6.0	SOLID	MODIFIED BIG DRUM	2.501	0.045	0.014	# 1000 ABRALON	54	70	87

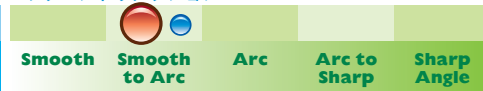
NANODESU MAX GRASP

Cover	Type	Core	RG ^(15P)	ΔRG ^(15P)	INTΔRG ^(15P)	Surface	Skid	Backend	Hook
UG NANO-THANE 4.5	SOLID	MAX BIG DRUM	2.464	0.056	0.017	# 1000 ABRALON	55	72	85

レーンコンディション



バックエンドリアクション



レンジス



ボールの評価

「GRASP」は、その名の通りオイルをしっかりと捉える性能を追求してきたシリーズです。最新作となる「MEGA GRASP」は、その基本思想を受け継ぎながら、単純にオイルへの強さを高めるのではなく、現代のレーンコンディションで必要とされる「掴みながら先へ進む」ボールモーションを追求したモデルと言えるでしょう。従来のGRASP系が持つ強い安定感をベースに、より実戦的な動きへと進化させたことが今回の大きなポイントです。

コアにはGRASPシリーズの象徴とも言えるBIG Drumコアを採用し、カバーストックとの組み合わせによって、レーン前半からボールの存在感をしっかりと感じさせます。しかし、ただ早い段階から摩擦させるのではなく、コアが生み出す転がりとカバーのトラクションをバランスさせることで、ミッドレーンまでボールの姿勢を崩さず、ピンに向かって強く動き続ける特性を狙っています。実際に投球すると、第一印象は「強い」の一言では表現しにくい、非常に質の高い転がりです。手前からレーンを捉える安心感がありながら、従来のヘビーオイル対応ボールにありがちな早い段階での失速感が少なく、ボールがレーン中盤からさらに前へ進んでくれます。そしてバックエンドでは、オイルをしっかりと捉えたボールらしい強い方向転換が生まれ、ピンに対して厚く強い入射を作りやすく感じられます。前作までのGRASPと比較すると、MEGA GRASPは「より早く曲がる」ことだけを求めたボールではありません。むしろ、オイルに対する安心感を維持しながら、現代のボウラーが求めるレーンの長さやバックエンドのエネルギを確保した点に進化を感じます。特にオイル量が多いコンディションや、キャリーダウンによってボールが先へ運ばれやすくなった状況では、その強いトラクションと継続性が大きな武器になるでしょう。

特記事項

「掴む」というGRASP本来の性能をさらに突き詰め、オイルを捉え、転がり、そして最後まで強く動き続けるというGRASPの本質を、より高い次元で表現したボールです。